



News Release

(別添)

2021年5月27日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

調理家電は正しく使いましょう ～電子レンジ・オーブントースターの庫内の汚れは NO!!～

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、調理家電に関する製品事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2016年から2020年までの5年間に124件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

1-1. 事故発生状況

(1) 年別 府県別 事故発生状況

表1 年別 府県別 事故発生件数^{※2} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年	2016年	4 [2]	5 [4]	11 [8]	7 [6]			27 [20]
	2017年	3 [1]	5 [2]	9 [3]	5 [3]	2 [1]	1 [1]	25 [11]
	2018年	4 [3]	4 [1]	13 [9]	5 [4]	1 [0]		27 [17]
	2019年	1 [1]	3 [1]	6 [4]	8 [6]	1 [1]	1 [1]	20 [14]
	2020年	2 [2]	2 [1]	10 [6]	8 [7]	2 [1]	1 [1]	25 [18]
合計	事故件数	14	19	49	33	6	3	124
	火災件数	[9]	[9]	[30]	[26]	[3]	[3]	[80]

(※2) [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡			1 (1) [1]	1 (1) [1]			2 (2) [2]
	重傷	1 (1) [0]		1 (1) [0]	1 (1) [0]			3 (3) [0]
	軽傷		1 (1) [0]	6 (6) [3]	2 (3) [2]			9 (10) [5]
物的被害	拡大被害	6 [5]	10 [7]	20 [16]	14 [13]	2 [2]	2 [2]	54 [45]
	製品破損	7 [4]	8 [2]	20 [10]	15 [10]	3 [1]	1 [1]	54 [28]
被害なし				1		1		2 (0) [0]
合計	事故件数	14	19	49	33	6	3	124
	被害者数	(1)	(1)	(8)	(5)	(0)	(0)	(15)
	火災件数	[9]	[9]	[30]	[26]	[3]	[3]	[80]

(※3) ()は被害者数、[]は火災件数。物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

(3) 製品別 府県別 事故発生状況

表3 製品別 府県別 事故発生件数^{※4} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
電子レンジ		4	5	13	11	2	2	37
		[2]	[1]	[9]	[8]	[1]	[2]	[23]
ラジエントヒーター こんろ		2	5	7	8		1	23
		[1]	[3]	[6]	[8]		[1]	[19]
IH こんろ		2	2	10	6	2		22
		[2]	[1]	[7]	[6]	[2]		[18]
オーブントースター		1	3	7	3	1		15
		[1]	[2]	[5]	[3]	[0]		[11]
電気ケトル		2	2	6	1	1		12
		[1]	[1]	[1]	[0]	[0]		[3]
電気炊飯器		2	1	1	1			5
		[2]	[1]	[1]	[0]			[4]
コーヒーメーカー		1		2	1			4
		[0]		[0]	[0]			[0]
フードミキサー			1	1	1			3
			[0]	[0]	[0]			[0]
ホットプレート				1				1
				[1]				[1]
その他				1	1			2
				[0]	[1]			[1]
合計	事故件数	14	19	49	33	6	3	124
	火災件数	[9]	[9]	[30]	[26]	[3]	[3]	[80]

(※4) [] は火災件数。

2. 事故事例の概要

付着した食品かすの発火事故

2020年2月（京都府、年齢不明・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のオーブントースターから出火し、床を焼損した。

【事故の原因】

くず受けトレイの手入れ不足で食品かすなどが堆積していたため、ヒーターで食品かすなどが過熱されて発火したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「くず受けトレイはよごれたままにしない。油分や食品かすが残っていると燃えることがある。」旨、記載されている。

加熱できない食品による事故

2018年11月（奈良県、70歳代・女性、製品破損）

【事故の内容】

電子レンジでゆで卵を温めていたところ、破裂し、庫内のプレートが割れた。

【事故の原因】

ゆで卵を含む調理物を加熱したため、ゆで卵が破裂した衝撃により、庫内のガラスプレートが破損したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「生卵やゆで卵、目玉焼きは加熱しない。破裂した衝撃で庫内が破損するおそれがある。」旨、記載されている。

3. 調理家電の事故映像について

調理家電に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 山崎 卓矢

担当者：製品安全広報課 向井

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp